

ハンドボール No. 4/

Japan
Handball
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	フロッグ大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会
<input type="checkbox"/>	地区大会

<input type="checkbox"/>	成年男子
<input type="checkbox"/>	成年女子
<input type="checkbox"/>	少年男子
<input type="checkbox"/>	少年女子

試合 番号	キ
----------	---

年月日	2018 年 9 月 14 日 (金)
大会名	第73回国民体育大会 福井しあわせ元気国体2018

公 式 記 録 用 紙

A 東京都						B 鹿児島県								
福井県		市町村 永平寺町			会場 北陸電力福井体育館フレアAコート					回戦 2回戦				
前半	A 11	B 14	最終 結果	A 20	B 25	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7mTC	A	B
7mT得点/総数		A 0/0	チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 2/3	7mT得点/総数				
		1	2	後	3				1	2	後	3		
		22:51			-08:45									

No.	東京都	G	W	2'	2"	D	DR	No.	鹿児島県	G	W	2'	2"	D	DR
1	高倉 彩加							1	渋谷 優衣						
2	大谷 真央							2	安倍 千夏	2					
3	斗米 菜月	3						3	松村 杏里	3	1				
4	山口 愛		1	1				4	北原 佑美	2					
5	山根 楓	2						5	谷 華花						
6	並木 梨紗	6	1					6	川村 杏奈	6		1			
7	初見 実椰子							7	橋本 南	1					
8	山口 真季	3	1					8	鈴木 理紗	2					
9	植松 莉子	1						9	藤田 遼香						
10	山田 美穂	2						10	田村 美沙紀	4					
11	金城 ありさ	3						11	山野 由美子	5		1			
12	鈴木 梨美							12	飛田 季実子						
役員A	池田 鉄哉							役員A	大城 章						
役員B	八尾 泰貴							役員B	横手 健太						
役員C	須田 希世子							役員C	大迫 亜矢						
役員D								役員D	藤井 保奈美						

A	チーム役員A署名	B
特記事項		

レフェリー	中嶋 秀	前田 隆志	
T D	古矢 勲	酒谷 信彦	
J H.Aオフィシャル			

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール

No. 40

第73回国民体育大会 平成30年度「福井しあわせ元気」国体

試合結果・戦評報告書

競技日	H30. 9/ 13日(木) (14(金)) 15(土)・16(日)・17(月)			試合番号	C-キ
会場 コート	A	福井県営体育館	種別	(成年)・少年	
	B	福井市体育館	性別	男子・(女子)	
	(C)	北陸電力福井体育館フレアAコート	回戦	一回戦・(二回戦)	
	D	北陸電力福井体育館フレアBコート		準々決勝・準決勝	
	E	永平寺緑の村ふれあいセンター		3位決定戦・決勝	
Aチーム名			Bチーム名		
東京都			鹿児島県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
20	11	前半	14	25	
	9	後半	11		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評	
<p>大会2日目、第4試合。大学生主体の東京都とJHLソニーセミコンダクタの単独チームで挑む鹿児島県の一戦。先制したのは東京都。⑤山根が左サイドから華麗にシュートを決める。体格差で勝る鹿児島県は③松村がポストから連続でシュートを決める。初戦の硬さからか今ひとつ調子の上がない鹿児島県に対し、東京都は速いパス回しから持ち前の機動力を活かした攻めで得点し、前半中盤まで一進一退の攻防が続く。しかし自力で勝る鹿児島県は、⑩山野の豪快なロングシュート、⑥川村のミドルシュートなどで4連取。前半18分で11対7とリードを広げる。そのまま突き放したい鹿児島県であったが、東京都も⑥並木が鋭いフェイントから技ありのループシュートや豪快なロングシュートで流れを渡さない。その後、攻めでのミスが目立ち始めた東京都に対し、鹿児島県は⑫飛田を中心とした堅い守りからの速攻で④北原、⑩山野が得点を挙げ、11対14で前半を折り返す。</p> <p>後半開始早々、鹿児島県⑥川村が退場し、点差を縮めたい東京都であったが、ミスからのターンオーバー。このシュートを鹿児島県②安倍が確実に決め、得点を許してしまう。なんとか追いつきたい東京都、⑪金城のカットインや③斗米のミドルシュートなどで後半11分、一点差まで詰め寄る。後半14分、東京都は速攻から同点に追いつく決定的なチャンスを作る。しかし、ここで東京都の前に立ち上がったのが、鹿児島県の守護神⑫飛田。相手のノーマークシュートをビッグセーブ。これで流れに乗った鹿児島県。⑩田村の速攻、サイドからのスカイシュートで得点し、後半25分で23対19と差を広げる。一矢報いたい東京都も後半終了間際、③斗米のサイドシュートで得点するも、タイムアップ。格上相手に粘る東京都を25対20で破り、鹿児島県が準々決勝進出を決めた。</p>	
記載者氏名	村田 智洋
送信日時	月 日 ()
送信者署名	